

2026年5月

医療関係者各位

陽進堂ホールディングス株式会社

「使用上の注意」改訂のお知らせ

血液凝固阻止剤

- ーヘパ[®]透析用 100 単位/mL シリンジ 20mL
- ーヘパ[®]透析用 150 単位/mL シリンジ 20mL
- ーヘパ[®]透析用 200 単位/mL シリンジ 20mL
- ーヘパ[®]透析用 500 単位/mL バイアル 10mL
(パルナパリンナトリウム注射液)

今般、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。
(下線部分が変更箇所です。)

ご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

記

〈改訂内容 製剤共通〉

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
変更なし			省略		
アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え)	本剤の抗凝固作用が減弱し、ヘパリン抵抗性を示すことがある。	<i>In vitro</i> データから、アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え) がヘパリン-アンチトロンビンⅢ複合体に作用し、本剤の抗凝固作用を減弱させることが示唆されている。 <u>シミュレーション結果に基づき、本剤の抗凝固活性は、アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え) 投与終了4時間後にはアンデキサネット アルファ (遺伝子組換え) の影響を受けないと推定されている。</u>	アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え)	本剤の抗凝固作用が減弱し、ヘパリン抵抗性を示すことがある。	<i>In vitro</i> データから、アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え) がヘパリン-アンチトロンビンⅢ複合体に作用し、本剤の抗凝固作用を減弱させることが示唆されている。



—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—


〈改訂理由〉

●「併用注意（併用に注意すること）」への追記

アンデキサネット アルファ（遺伝子組換え）（販売名：オンデキサ静注用 200mg）の電子添文との整合性を図り、「10.2 併用注意（併用に注意すること）」の項にアンデキサネット アルファ（遺伝子組換え）との併用に関する情報を追記して注意喚起することといたしました。

- DSU No.345(2026年5月発行)掲載予定
- 最新の電子添文につきましては、以下ホームページをご参照ください。
陽進堂ホールディングス ホームページの医療関係者様向けサイト(<https://yoshindoholdings.co.jp/>)
医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)
- 専用アプリ「添文ナビ」を用いてGS1バーコードを読み取ることで、電子添文を確認頂くこともできます。

製品名	GS1バーコード
ローヘパ [®] 透析用シリンジ	
ローヘパ [®] 透析用バイアル	

お問い合わせは、担当MR又は弊社お客様相談室までご連絡ください。
陽進堂ホールディングス株式会社 お客様相談室  0120-647-734

以上